

2024年度 決算公告

東京都渋谷区道玄坂一丁目10番8号
東急少額短期保険株式会社
代表取締役社長 片岡 純一

2024年度（2025年3月31日現在）貸借対照表

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
現金及び預貯金	117,150	保険契約準備金	112,308
預貯金	117,150	支払備金	23,878
無形固定資産	27,226	責任準備金	88,430
ソフトウェア	27,226	その他負債	12,751
その他資産	21,788	未払法人税等	908
未収保険料	20,404	未払金	7,627
前払費用	1,384	未払費用	2,114
供託金	12,000	預り金	483
		前受収益	1,608
		その他の負債	9
		賞与引当金	6,302
		負債の部 合計	131,361
		（純資産の部）	
		資本金	299,500
		資本剰余金	199,500
		資本準備金	199,500
		利益剰余金	△ 452,196
		その他利益剰余金	△ 452,196
		繰越利益剰余金	△ 452,196
		株主資本合計	46,803
		純資産の部 合計	46,803
資産の部合計	178,164	負債及び純資産の部合計	178,164

（注） 1. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

2. 固定資産の減価償却方法

無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

3. 賞与引当金は従業員賞与に充てるため、支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を基準に計上しております。
4. 消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。
5. 責任準備金の金額は保険業法施行規則第 211 条の 46 の規定に基づく準備金であり、同第 1 項第 1 号イに規定する未経過保険料の金額は、純保険料等に基づく算出方法により計算しております。
6. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

少額短期保険業者の資産運用は、預貯金(外貨建てを除く)・国債・地方債等に限定されているうえ、当社では安全性・流動性の確保のため預貯金による運用を基本方針としております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

現金及び預貯金、その他の資産・負債のうち金融商品に該当するものは、短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似することから注記を省略しております。その他に時価評価の対象となる資産・負債の保有はありません。

7. 当事業年度末における支払備金及び責任準備金の内訳は次のとおりであります。

(支払備金)

普通支払備金	22,090 千円
<u>IBNR 備金</u>	<u>1,788 千円</u>
計	23,878 千円

(責任準備金)

普通責任準備金	76,821 千円
<u>異常危険準備金</u>	<u>11,609 千円</u>
計	88,430 千円

8. 関係会社に対する金銭債権又は金銭債務

関係会社に対する金銭債務 3,805 千円

9. 1株当たりの純資産額は4,689円73銭であります。算定上の基礎である純資産額は46,803千円であり、その全額が普通株式に係るものであります。また、普通株式の当期末発行済株式数は9,980株であります。

2024年度 { 2024年4月1日から
2025年3月31日まで } 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	205,431
保険料等収入	205,379
保険料	205,379
資産運用収益	51
利息及び配当金等収入	51
その他経常収益	0
経常費用	234,891
保険金等支払金	25,284
保険金	22,973
解約返戻金	2,197
その他返戻金	113
責任準備金等繰入額	74,123
責任準備金繰入額	65,505
支払備金繰入額	8,618
事業費	135,483
営業費及び一般管理費	115,001
税金	7,801
減価償却費	9,823
賞与引当金繰入額	2,858
経常損失	29,460
特別利益	—
特別損失	—
税引前当期純損失	29,460
法人税及び住民税	298
法人税等調整額	—
法人税等合計	298
当期純損失	29,758

- (注) 1. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。
 2. 正味収入保険料は 203,068 千円であります。
 3. 正味支払保険金は 22,973 千円であります。

4. 支払備金繰入額（△は支払備金戻入額）の内訳は次のとおりであります。

普通支払備金繰入額	8,732 千円
<u>IBNR 備金繰入額</u>	<u>△114 千円</u>
計	8,618 千円

5. 責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳は次のとおりであります。

普通責任準備金繰入額	59,992 千円
<u>異常危険準備金繰入額</u>	<u>5,513 千円</u>
計	65,505 千円

6. 利息及び配当金等収入の内訳は、預貯金利息 51 千円であります。

7. 関係会社との取引による収入総額は 236 千円、費用総額は 9,447 千円であります。

8. 関連当事者との取引は次のとおりであります。

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	科目	期 末 残高
親会社の 子会社	東急リゾーツ& ステイ株式会社	—	保険契約の 締結	未収保 険料	1,538

(取引条件および取引条件の決定方針等)

取引条件は第三者間取引と同等の条件あるいはそれに準じた合理的な基準で設定し、金銭的条件は明示化しております。

決定方針は会議体による事前承認制とし、保険収支の健全性や料率の妥当性等を保険計理人による第三者の立場から確認と助言を受けております。

9. 1 株当たりの当期純損失は 2,981 円 83 銭であります。算定上の基礎である当期純損失は 29,758 千円であり、その全額が普通株式に係るものであります。また、普通株式の期中平均株式数は 9,980 株であります。なお、潜在株式調整後 1 株あたり当期純利益金額については潜在株式がなく 1 株あたり当期純損失であるため記載しておりません。